

## 第1回 (仮称)ねりま区民大学のあり方懇談会会議録

日 時 平成23年6月30日(木) 14:30～16:30  
場 所 練馬区役所 本庁舎19階 1905会議室  
出席者 委員 15名  
(教育委員会)教育長  
(事務局) 生涯学習部長、生涯学習課長、生涯学習担当係長、  
同係職員1名、同課庶務係職員1名

### 配布資料

- (1) 諮問文(写) . . . 資料1
  - (2) (仮称)ねりま区民大学のあり方懇談会委員名簿 . . . 資料2
  - (3) (仮称)ねりま区民大学の設置について . . . 資料3 - 1
  - (4) (仮称)ねりま区民大学の設置に関する基本的な考え方 . . . 資料3 - 2
  - (5) 他区における区民大学の設置状況 . . . 資料4 - 1
  - (6) 学習成果の活用や人材の育成等を目的とした主な区民大学 . . . 資料4 - 2
  - (7) 練馬区における人材育成・活用事業の実施状況 . . . 資料5
  - (8) 地域福祉パワーアップカレッジねりまのご案内 . . . 資料6 - 1
  - (9) 地域福祉パワーアップカレッジねりまの授業内容 . . . 資料6 - 2
  - (10) 欠席された委員の方の事業イメージ . . . 資料7
- <参考資料>
- ・ (仮称)ねりま区民大学のあり方懇談会設置要綱
  - ・ 練馬区長期計画(抜粋)
  - ・ 練馬区生涯学習推進計画(概要版)

---

## 1. 委嘱式

(教育長より委員の委嘱)

## 2. 座長・副座長の選出

### 【事務局】

座長を選出させていただきます。本懇談会は参考資料の「(仮称)ねりま区民大学設置要綱」の規定に基づき、座長は委員の互選により決めることとさせていただいております。どなたかご推薦いただけますでしょうか。

よろしければ、事務局からの提案の上、互選していただきたいと思いますがいかがでしょうか。

(一同拍手)

**【事務局】**

それでは、本区におきましてすでに地域福祉パワーアップカレッジねりまの学長として関わっていらっしゃる市川委員に座長をお願いするのはいかがでしょうか。

(一同拍手)

**【事務局】**

それでは市川委員を座長に互選いただきましたのでよろしく申し上げます。

次に副座長の選出ですが、設置要綱に基づきまして座長が委員の中から指名することとさせていただきます。それでは座長からお願いいたします。

**【座長】**

では池田委員に申し上げます。

(一同拍手)

**【事務局】**

それでは座長・副座長からご挨拶をお願いいたします。

**【座長】**

(座長より挨拶)

**【副座長】**

(副座長より挨拶)

### 3 . 諮問

**【事務局】**

(仮称)ねりま区民大学のあり方懇談会に対しまして教育長より諮問させていただきます。委員の皆様のお手元には資料1として用意しましたのでご覧ください。

**【教育長】**

(諮問)

**【事務局】**

引き続きまして、教育長より委員の皆様にご挨拶をさせていただきます。

#### 4 . 教育長挨拶

( 教育長より挨拶 )

##### 【事務局】

教育長は他の公務のため、恐縮ですがここで退室させていただきます。  
それではこれより座長に進行をお願いいたします。

#### 5 . 各委員自己紹介・区職員紹介

##### 【座長】

資料 2 をご覧ください。各委員の自己紹介をお願いいたします。

##### 【各委員】

( 自己紹介 )

##### 【事務局】

( 自己紹介 )

#### 6 . 議事

##### 【事務局】

資料確認と会議の公開について説明させていただきます。

( 資料の確認 )

( 会議の公開について説明 )

練馬区では平成 1 4 年 3 月に「区長の管理する情報の公表および提供ならびに附属機関等の会議の公開に関する事務取扱要綱」を定めており、これらの会議は原則公開としています。

これにより、本懇談会は基本的に公開をさせていただきたいと存じます。具体的には会議の傍聴を認める、会議における資料を公開する、会議の要点記録をホームページ等で公開するというものです。

本日は傍聴の方はいらっしゃいませんので、このまま議事 1 を進めてよろしいでしょうか。

##### 【座長】

会議の公開について事務局から説明がありましたが、そのように取扱ってよろしいでしょうか。

( 異議なし )

【座長】

では今後このように取扱います。  
それでは議事に入ります。

### ( 1 ) ( 仮称 ) ねりま区民大学の設置について

( 事務局より、資料 3 - 1 ・資料 3 - 2 ・練馬区長期計画 ( 抜粋 ) に沿って説明 )

【座長】

質問があればお願いします。

【委員】

資料にある「            について検討する」という項目以外にも懇談会で意見を言うことができるのでしょうか。

【事務局】

資料 3 - 1 に記載したのはあくまでも主な検討事項ですので、それ以外にも委員の方のお気づきな点等のご意見を忌憚なく頂きたいと思っています。

【座長】

今後の進め方としては主要なテーマをある程度限定して、テーマに伴った話し合いをしていくことになるでしょう。  
他にご意見はないでしょうか。

【委員】

資料にある「 3 つの大学」とはどこの大学でしょうか。

【事務局】

3 大学とは「日本大学芸術学部」「武蔵野音楽大学」「武蔵大学」を指しております。

【座長】

他にありますでしょうか。  
なければ、議事 ( 2 ) 引き続いて ( 3 ) について事務局から説明していただきます。

### ( 2 ) 他区における区民大学の設置状況について

( 事務局より、資料 4 - 1 ・資料 4 - 2 に沿って説明 )

【座長】

引き続き、練馬区における取組についても説明してください。

### (3) 本区における人材育成および活用事業の現状と課題について

#### ・地域福祉パワーアップカレッジねりまの取組

(事務局より、資料5・資料6-1・資料6-2に沿って説明)

#### 【座長】

区内のこと、区外のことを含めて、ご質問いかがでしょうか。

#### 【委員】

質問というか希望なのですが。

#### 【座長】

よろしいです。

#### 【委員】

資料4-2、資料5に記載されている課題は重要だと思います。次回資料を作成されるときは、課題に対しての「何で」という原因分析を入れていただくと分かりやすいと思います。

例えば、江戸川区の江戸川総合人生大学の課題は「学長や学科長の人選が困難である」とあります。ではなぜ、という原因が一言記載されていれば、今後、話をする時にさらに進みやすいと思うので、入れていただければありがたいという希望です。

#### 【事務局】

わかりました。

#### 【座長】

そのようにお願いします。

また、課題の要因に関しては、正直色々な理由があるので、わかる範囲で、記載していただければと思います。

多分、江戸川区の学長は北野大氏ですから、呼んでくるのが大変だと、そういうこともあるのではないのでしょうか。

ある意味、どこを基準に議論をしていくかということが大事になると思います。また、皆様方もお気づきになったかと思いますが、練馬区の中ではサポーターとか、すごく数が多いのです。サポーターというものは、何種類ありますか。

#### 【事務局】

数えてみますと10程度かと思います。

また、生涯学習施設においては、施設の運営についてサポーターを養成したり、そういった取り組みを事業運営に入れてございます。

ふるさと文化館あるいは美術館、公民館、そういったところでは必ずサポーターの養

成を実施しています。

【座長】

それと、独自の学習というの組み合わせさってくると思いますので、今あるものをどうやって取り入れるのか、もしくは統合するのか。そういう議論も入ってくるということですね。

いかがでしょうか。

【委員】

私どもも練馬公民館や石神井公園ふるさと文化館でサポーターをやらせていただいたり、サポーターに興味がある方が集まり、本当のボランティアに近い形でやっております。その後、何年間かお勉強をしたら、資格が取れる方もあるでしょうし、私どもは手工芸でものづくりの専門家ですけれども、今あるサポーターを、今後、講師として集まっていたら統合していくのかどうか、そこに興味があります。

練馬の中には本当に人材が豊富にあると思うし、その方達をいかにして取り入れていくのか。

生涯学習というのは、生まれて亡くなるまでを「生涯」だと私は感じております。色々な問題点がありますけれども、みんなの意見を出して、他のところにはない、練馬らしいものにしなければと思っております。

【座長】

この内容に関してのご質問はありますか。

パワーアップカレッジについてはいいですか。

【委員】

内容については、まだまだこれからだと思っておりますが、国際関係、伝統文化、工芸とか、そういう専門的なものもが入っていないように思います。

大学といっても、区民が参加する大学ですから、参加して良かったというような、色々なものづくりや、地域の輪ができたらいいなと思っております。

【座長】

地域人材育成活用事業の実施状況および現状と課題の説明をいただきましたが、その他に委員がおっしゃった趣味活動とか教養講座は区民大学に入るのですよね。

【事務局】

生涯学習支援ということで、資料3-2でお示したように、地域活動を担う人材を育成し、地域活動につながるような生涯学習講座を想定しています。

単に、自分自身の教養を高めるためのものなどについては、示しておりません。

今後、懇談会のご意見としてあれば、ご提言いただければと思います。

【座長】

資料3 - 2「ねりま区民大学の設置に関する基本的な考え方」を見ていただきたいと思います。

その中で、「5．カリキュラムに関する考え方」ですが、

1は「地域活動を支援するためのカリキュラム」

2は「生涯学習を支援するためのカリキュラム」

3は「カリキュラム編成」ほか組織、理論ということで、先ほどご説明いただいたところです。

ですから、1は「地域活動を支援するためのカリキュラム」で、2は「生涯学習を支援するためのカリキュラム」というと、どの範囲が入るのかということも議論の題材になりますか。

【事務局】

「4．機能に関する考え方」にも、生涯学習活動支援というのがございまして、そこでお示ししているのが、現在、総合教育センターで行っている事業については、少なくとも継続していくと考えています。

「5．カリキュラムに関する考え方」中で、生涯学習支援のカリキュラムについては、どちらかといいますと未来を担う人材、そのための生涯学習支援、それから大学と連携しながら地域活動に関わるテーマについての生涯学習講座あるいは講演会といったものを想定してまとめたものでございます。

【座長】

1「地域活動を支援するためのカリキュラム」が軸になるということですね。

その軸が区民大学の中心となるイメージで、生涯学習は人材育成以外も入ってきますので、趣味的な教養講座は入らないのですね。

確認ですけれども、1が地域活動を支援するためのカリキュラムそして未来の人材育成のための、2が生涯学習を支援するためのカリキュラム、という方向でまとめていくという議論でよろしいですか。

【事務局】

資料3 - 1の2ページの図をご覧ください。一番の目的は、人材育成・活用。人材をぜひ活用したい。そのためには人材育成が必要です。

人材育成をするためには、生涯学習活動の支援や、情報の収集・提供と学習相談があります、という図になっています。

学びたい、学んで自分で楽しみたいというところからは少し外れます。今現在、総合教育センターにある機能については、継続していきますが、新しくねりま区民大学という形で構築していくものについては、この図のような形の機能、役割としていきたいというのが基本的考え方です。

**【委員】**

「人材の活用を支援することが大学の目的」とおっしゃったと思うのですが、その人材というのは、既に生涯学習とかで色々学んだ人を指すのですか。

**【事務局】**

基本的には、ねりま区民大学で学んでいただいた方を指します。

学んでいただいて、非常に難しいですが、その出口作りもセットで検討していかなければならないと思うのです。

スキルを学んで、いろいろな気持ちがあっても、活躍する場所がないということになってしまうと意味がないことになるので、出口の作り方みたいなことも含めて、皆様方からご意見を頂戴できればというのが私どものねらいでもあります。

**【委員】**

現実に、人材育成をするための、育成できる人材がいるわけです。教育センターだけではなく、公民館などにも専門家がかなりいるのです。そういう人材をこの育成に使えないのかなというのが私の考えです。

そういう方がいっぱいいるのに、ここには使わないということになりますか。

**【事務局】**

例えば伝統文化は伝承し指導をしていく人材がいますよね。そういう方の講師育成を、今後検討するカリキュラムの中に立てるのであれば、そういった人たちを育て、講師となって地域で活躍していただくということは当然考えられると思います。

それとともに、人材バンクといいますか、人材を登録する機能も考えています。例えば経験・技能を持った方々が地域で活動するにあたって、その人材バンクに登録し、地域につなげたりといった仕組み作りも区民大学は担っていきたいと思っています。

**【委員】**

なるほど。それならわかってきました。

地域にいる人達を活用しなければ損だと思うのです。そういう人を使わないともったいないと思っています。

**【座長】**

今のことは大切だと思いますけれども、つまりはどのようなプログラムを立てるかということです。基本は練馬の地域づくりです。そのためには、多様な方たちにも参加していただく。

ですから、そのことを提案していただいて、こういうことがあるから町づくりができますよということなら、それをプログラムに入れればいい。

**【委員】**



そうだと思います。わかりました。

**【座長】**

今日は、こういう質問形式になっていますが、こちらで引き取って、一々質問をしていくと答えなくてはいけなくなってしまうので、今は議論をしている最中のことも答えられないですね。

ですから、今回は道筋を決めるということで入ってもらっていますが、次回はご自由に、こういうことが必要ではないですかとか、こういうプログラムが必要ですよとか、具体的にいきましょう。

**【事務局】**

今、座長がまとめていただきましたけれども、冒頭にありましたように、地域づくりの人材をとということで、その講座を考えていますというのが軸でございます。大変言い方は申しわけないかもしれませんが、趣味の講座というのでしょうか、それだけで、自分で完結してしまう、地域にそれを広げようということのないものについては今回除外して考えてくださいというのが、こちらから今お願いしているという部分の、先ほどの考え方の軸のところですよ。

ですから、伝統工芸とか現代工芸とかありますけれども、それらを地域に生かしているというものは、当然この議論の中身になると考えています。

**【委員】**

指導者の育成ということになるのでしょうか。そうすると、青少年なら青少年育成の指導者をきちんと育成し、キャンプをしたりなど、専門家がそこに行って指導をすることによってでしょうか。これからだからわからないのですが。

**【事務局】**

そういうコースも当然考えられるだろうと思います。

**【委員】**

考えられるんですね。区民大学は2年間でしょうか。

**【座長】**

2年間のコースもあれば、単発のコースもある、という様々なものがあると思います。パワーアップカレッジねりまは、2年間コースで地域福祉を学ぶプログラムです。そのほか、例えば7回の単発で済むような研修の体系を持っているものもあると思います。だから、幾つかを組み合わせるということですよ。では、何を組み合わせるのかということをごここで話しあうことになっていきますが、軸は練馬の地域づくりです。

防災が大事であれば、防災のコーディネーターみたいなものを出して、そしてどう障害を持っている方に緊急に駆けつけるとか、そういう議論をしてもいいわけですよ。

ですから、そういう住民の力がほしい。これが協働の作業です。

【委員】

東京都や練馬区で認知症のサポーターも随分養成したと思うのですが、現実には、認知症の方になかなか関わりが持てていないということです。ですから、区民大学ということで、ある程度の時間とお金をかけて、きちんとやるということだったら利用できるのもあると思います。

【座長】

これは、私の個人的な意見として受け止めてください。

出口は多様で、支援するメンバーもかかわらなくてはいけないと思います。

ボランティアであったり、地域包括支援センターの職員であったり、かかわる人たちが受け止めてくれないと、その人は浮いてしまうわけです。

パワーアップカレッジねりまのいいところは、一緒に関わってくれる人が受け止めてくれる、卒業生も受け止めてくれるから、軟着陸できるわけです。

養成だけをしていると、どこに行ったらいいかわからないまま終わってしまいます。それをどうするかは出口のところでもまた検討したらいかがでしょうか。

【委員】

東京都で健康大学というのがあります。東京都の各老人クラブ連合からの代表が来て勉強をしているのですけれども、副会長とか、役職を持って長くやっていた方が勉強すると地域に生きるのです。また、本当に老人クラブに入りたての、一も二もわからない方が、ご推薦を受けてくると、地元に戻ってご指導できないということがあります。

肩書きといいますか、この専門についてはこの方に頼めばいい、というものができれば、受け入れ側は喜んで受け入れられると思います。

【座長】

そのことは追い追い議論していくことでしょうか。例えば働いていただいた方を4、5年後また再教育するという、循環があると思うのです。

あと、カリキュラム数の問題も出てくるでしょう。どこが一番優先されるかということをごさん方で議論していくところだと思っておりますが、いかがでしょうか。

【委員】

区民大学の場所が、現在の総合教育センターとなっているので、練馬高野台駅から実際に歩いてみたら私の足で12分ぐらいありました。練馬区は非常に広いので、カリキュラムの内容も大切ですが、できるだけ多くの方に参加していただくという意味では、拠点は置いて、他にサテライトを作るなどの構想はあるのでしょうか。他区を見ますと分散しているところもあります。参加される障害者の方や高齢者の方が20分以上歩いていくには今の場所はきついと思います。

この問題は、今後の議論にとって結構重要だと思うのですが、いかに考えていらっしゃるのか。

【事務局】

資料3-2「10.(3)生涯学習施設との連携」でご案内させていただきました。

今、委員からございましたサテライト等のお話については、その部分に含まれるものでございます。ただ、拠点としてはあくまでも現総合教育センターを中心として、例えばどの分野をサテライトにして実施していったらよいか、望ましいかといったものは、ご意見いただければと思います。

それから資料3-1に検討事項の8として、交通アクセスもあります。例えば、巡回バスあるいはスクールバスといったものの運行が必要だろうというご意見も出てくるかと思しますのでご議論していただければと思います。

【座長】

財政事情もあるので、色々な可能性は模索しつつ、変な言い方ですけども、どこで最大限の効果を持つかということで、いずれのところでは決着せざるを得ないですね。今までは場所を確保するということが優先されていて、中心がなかったです。中心を確保するということを有効に活用し、それを補足していくということ。しかしランチをどうするかは、別の議論になります。また土地を買収して建てるということは、今のご時世はありません。

ですから、その中での場所をいかに最大限に活用するかという議論をしていただく。限界を補う場合にはどうしたらいいのか、していただくということを一応の前提にして、そしてランチはその次に考えることにしないと、なかなかこの計画がまとまらないと思います。ご協力をお願いします。

あとは、いかがでしょうか。

【委員】

この懇談会の位置づけです。

資料3-2「11.スケジュール」によると今の時点では基本的な考え方しか決まっていないですが、今後この懇談会での話し合いや議論を尽くして今言ったランチの話が出てきたら区民大学の基本計画の中にはいるのでしょうか。

【事務局】

本日、教育長から、懇談会の皆様方に諮問させていただきました内容について、皆様からご意見をいただき、ご提言をいただく。そのご提言を踏まえたうえで、私どもの庁内検討会議、基本計画を策定する検討委員会の中で、できること、できないこと、そういったことを取捨選択しながら、できる限りご提言を踏まえた内容のものを基本計画として作っていくということでございます。

【座長】

ということは、提言は出す。それを、内部で詰めて実現可能性を模索する。それが基本計画になっていくということになります。提言が膨大な夢を抱いていると使えませんので、具体的な実現可能なものを模索していく。そして、財政状況もあると思いますから、なるべく基本計画に生かしていただくような材料を提示すること、これが私たちの仕事だと思います。

では、資料7を説明していただけますか。

【事務局】

本日、出席できなかった委員の方から頂戴した（仮称）ねりま区民大学の事業イメージです。

（資料7に沿って、説明）

【座長】

余談ですが、3大学と共同して、大学を活用してやってもいいわけですよ。

その場所を活用するという意味では、大学との関係で生きていくし、実現の可能性は高いということになると思います。

あとはいかがでしょうか。

この参考資料「ねりま未来プロジェクト」は、ぜひご覧ください。これが一つのヒントです。今回の区民大学のイメージで、「人づくりプロジェクト」ということで打ち出しております。これが先ほどのお答えになると思います。

あと、事務局からの報告はあるでしょうか。

【事務局】

今回は、8月3日（水）午後6時30分から練馬区高野台、谷原交差点近くにございます総合教育センターで、施設見学を兼ねて実施する予定でございます。

最寄駅は練馬高野台駅ですが、歩いて12分ほどかかります。行き方としては、練馬からバスといった方法もございますので、あわせてご案内したいと思っております。

なお、会議の資料でございますが、懇談会の開催1週間前までには郵送させていただきたいと思っておりますので、お目通しいたくださいませ、会議当日にお持ちいただき、活発なご意見をいただきたいと思っております。

【座長】

ご質問はあるでしょうか。

（なし）

【座長】

では、次回ですね。また検討のときを設けますので、どうぞよろしく。

【生涯学習部長】

（挨拶）

【座長】

終了いたします。

（終了）